

経営比較分析表（令和5年度決算）

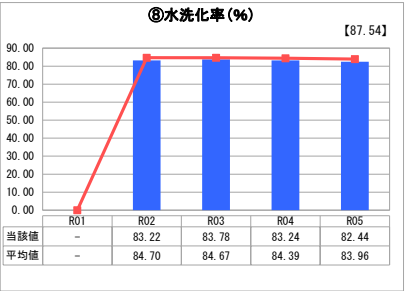
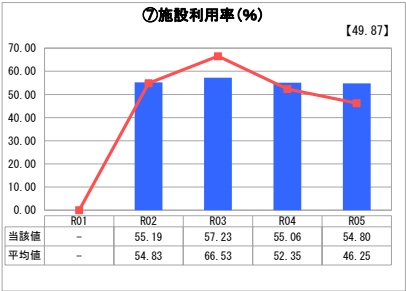
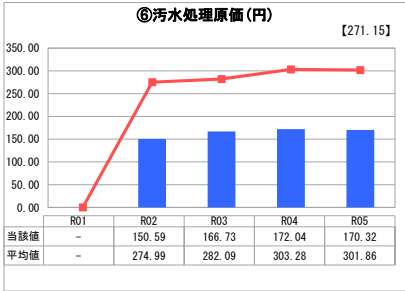
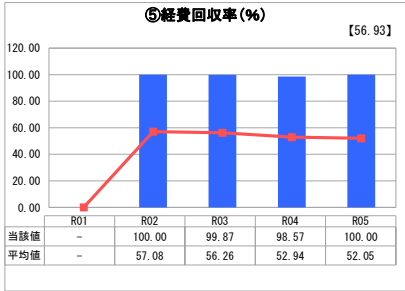
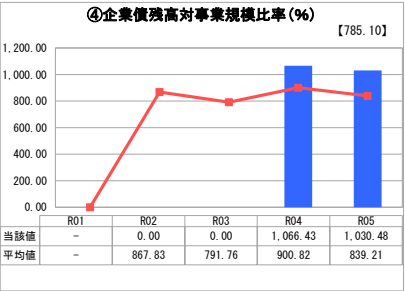
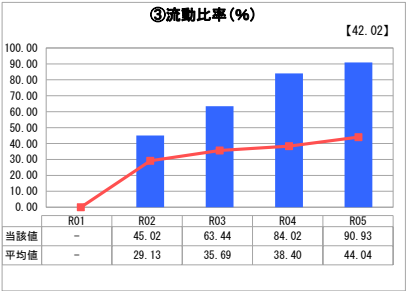
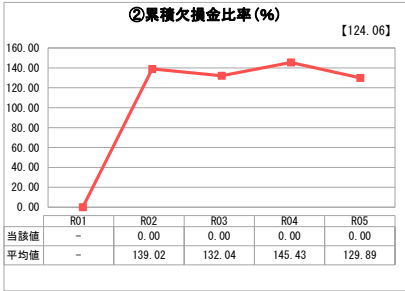
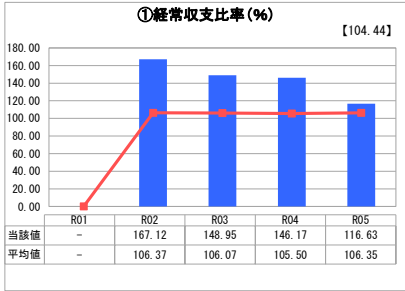
栃木県 矢板市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	77.00	2.96	65.21	3,300

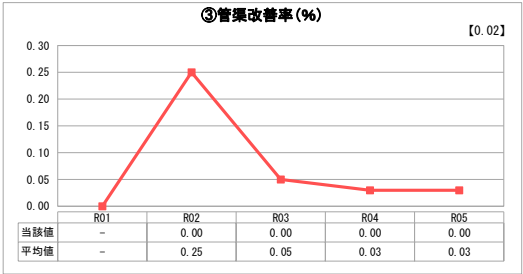
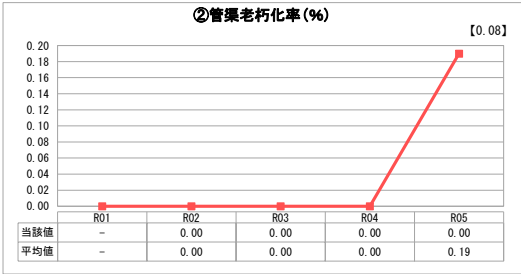
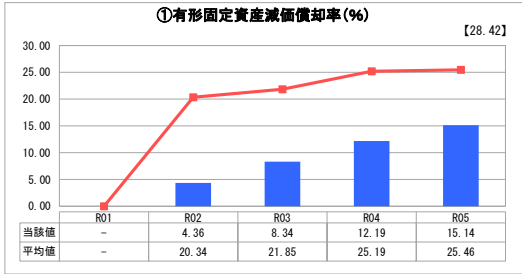
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,577	170.46	179.38
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
900	0.68	1,323.53

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を上回り、類似団体平均値より高い状況であります。しかし、経費の一部を使用料以外の収入（主に一般会計からの繰入金）で補填している状況です。今後、経費削減、財源確保に努め、経営の健全化を図る必要があります。

④企業債残高対事業規模比率は類似団体平均値を上回っていますが、施設更新のために一時的に借入金が増えたためであり、今後は減少する予定です。

⑤経費回収率は100%となっており、今後も使用料収入の確保に努めます。

⑥汚水処理原価は、物価高の影響により年々増加傾向にあるものの、全国平均や類似団体平均よりも大幅に低くなっているため、今後も低い水準を維持できるように適宜経営改善を行っていく必要があります。

⑧水洗化率はほぼ横ばいであるため、今後は水洗化を促進するにあたり工夫が必要と考えます。

2. 老朽化の状況について

耐用年数を経過する管渠はしばらくありませんが、今後、改修等の負担が一定期間に集中しないよう、計画的に更新等を進めていく必要があります。

全体総括

本市の農業集落排水事業は、収入の不足分は一般会計からの繰入金で賄っている状況です。そのため、今後は施設の老朽化を見越した、より適正な施設管理と健全な経営が求められます。

持続可能な事業経営に向け、経営戦略に基づき、効率的な投資と財政基盤の強化に取り組んでいきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。